

MRCP 検査のご紹介

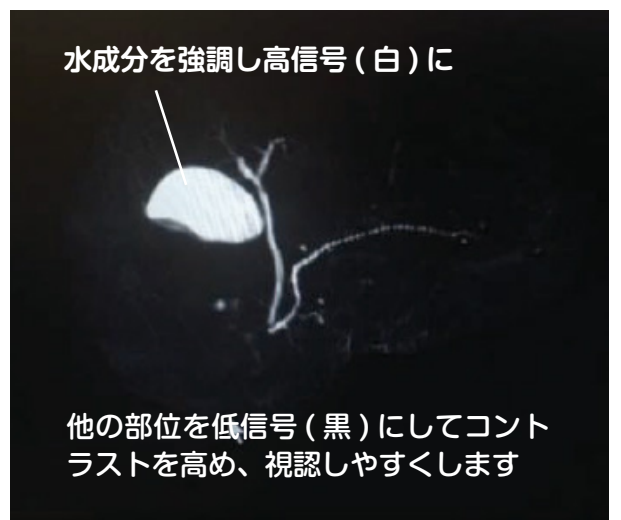
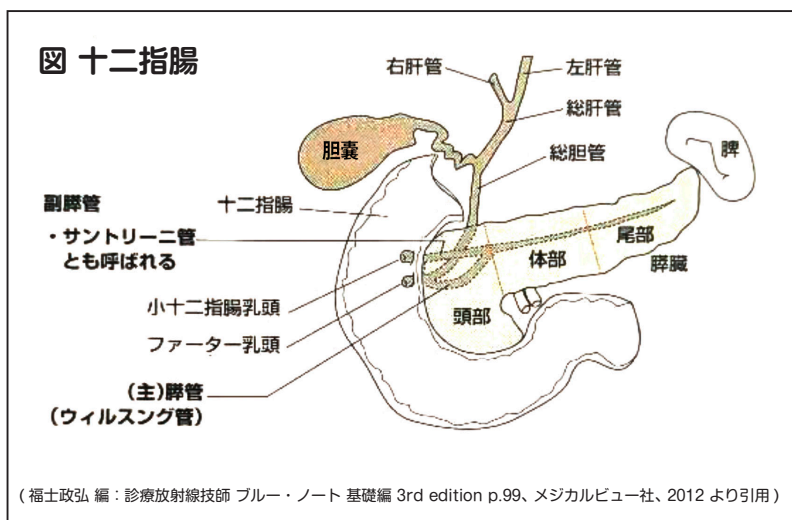
診療放射線技師 船木 廣和

MRCP (エムアールシーピー)とは **Magnetic Resonance Cholangio Pancreatography** の頭文字をとったもので、**磁気共鳴胆管膵管撮影**といいます。

主に胆のうの胆汁や膵臓で産生される膵液などの水成分を強調する撮影方法で撮影し、胆のう、胆管、膵管を描出する検査の一つです。

水成分を強調し高信号(白)、他の部位を低信号(黒)で描出すると、水成分の胆のう、胆管、膵管のみを画像化したものになります。

膵臓がんや胆管がんの大部分は膵管、胆管に異常をきたすため、MRCP でこれらの異常をとらえることにより、膵管や胆管がんの発見につながります。



MRCP でわかる病気

胆石、総胆管結石、胆嚢炎、膵炎、膵癌、の診断や閉塞性黄疸の原因検索など、膵胆管系の病変の診断に用いられます。

MRCP の特徴

- CT 検査のような放射線被曝がない
- 血管内造影剤を使用せずに描出できる
- 従来の検査法に比べ患者さんへの負担がない
- ▲ 破碎やドレナージなどの処置を並行して行えない
- ▲ MRI 検査が禁忌の方は撮影できない

検査時の注意とお願い

- ▶ 検査の 3 ~ 4 時間前は飲食禁止です。
- ▶ 撮影前に臓器の描出を良好にするための MRI 用経口消化管造影剤 (250ml) を飲んでいただく場合があります。
※マンガンを含むため、まれに軟便や下痢などの症状を引き起こす場合があります。心配な方は医師にご相談ください。
- ▶ 撮影時間は 20 分程度です。
- ▶ 検査中、しっかりとした息止めや安定したリズムでの呼吸をお願いします。



患者さんの協力が必要不可欠になります。ご理解ご協力をお願いいたします